

# 「みなと合唱団」によるコーラス

15:00~15:30

♪みんなで一緒に歌いましょう♪



## みなと合唱団

東京都港区で活動している合唱団です。現在メンバーは20名位。  
来年創立20周年を迎え、記念のコンサートを予定しています。  
平和で健康な歌を地域や職場に広めようという趣旨で活動しています。  
うたごえの祭典に毎年参加しています。今年も11/23有明コロシアムで開催された大祭典に参加しました。

## ねがい

1. もしもこの頭上に 落とされたものが  
ミサイルではなく 本やノートであったなら  
無知や偏見から 解き放たれて  
君はたたかうことを 止めるだろう
2. もしもこの地上に 響きあうものが  
爆音ではなく 歌の調べであったなら  
恐怖や憎しみに とらわれないで  
人は自由の歌を 歌うだろう
3. もしもこの足元に 植えられたものが  
地雷ではなく 小麦の種であったなら  
飢えや争いに 苦しまないで  
共に分かち合って 暮らすだろう
4. もしもひとつだけ ねがいかなうならば  
戦争捨てて 世界に愛と平和を  
このねがいかなうまで 私たちは  
歩みつづけることを 止めないだろう  
このねがいかなうまで 私たちは  
歩みつづけることを 止めないだろう

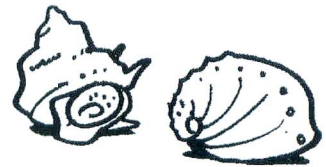
## 千の風になって

1. 私のお墓の前で 泣かないでください  
そこに私はいません 眠ってなんかいません  
千の風に 千の風になって  
あの大きな空を 吹き渡っています
  2. 秋には光になって 畑に降り注ぐ  
冬はダイヤのように きらめく雪になる  
朝は鳥になって あなたを目覚めさせる  
夜は星になって あなたを見守る
  3. 私のお墓の前で 泣かないでください  
そこに私はいません 死んでなんかいません
- ① 千の風に 千の風になって  
→ あの大きな空を 吹き渡っています  
② あの大きな空を 吹き渡っています  
→ くりかえし



## きずな

目には見えないものが まるで空気のように  
見えるものよりずっと大切な存在  
人にいわれるよりも なくして気がついた  
懐かしいあの声と笑顔に会いたい THANKS TO YOUR LOVE  
星より多い数の 先祖たちがそれぞれに  
時に熱く 時に重く つながりあって結んできた きずな  
何万年前の昔から 今ここに生きる私まで  
流れる愛は軌跡のように 海よりも深い思いに  
包まれて知らずに生かされている ありがとう生まれてきたこと  
ありがとうきずなに感謝  
とても小さなことが 何故か煩わしくて  
誰もいらぬなんて 思うけど ちがうよ  
どんな辛い時代も 飢えて寒い夜も  
暖めてくれた 誰かがいたから今日がある  
ありがとう  
ありがとう 生まれてきたこと  
ありがとう きずなに感謝  
ありがとう 生まれてきたこと  
ありがとう きずなに感謝



## 北国の春

えんじょう みのる

1. 白樺 青空 南風  
こぶし咲くあの丘 北国の  
ああ 北国の春  
季節が都会では判らないだろと  
届いたおふくろの小さな包み  
る

\* あのふるさとへ  
帰ろかな 帰ろかな

2. 雪解け せせらぎ 丸木橋  
から松の芽がふく北国の  
ああ 北国の春  
好きだとお互いに言い出せないまま  
別れてもう5年 あの娘はどうして

\*

3. やま吹き 朝霧 水車小屋  
わらべ歌聞こえる北国の  
ああ 北国の春  
兄貴も親父似で 無口な二人が  
たまには酒でも飲んでるだろか

\*

## 赤い靴

1. 赤い靴 はいてた 女の子  
異人さんに 連れられて 行っちゃった
2. 横浜の はとばから 船に乗って  
異人さんに つれられて 行っちゃった
3. 今では 青い目に なっちゃって  
異人さんのお国に いるんだろう
4. 赤い靴 見るたび 考える  
異人さんに 逢うたび 考える

## 青い目の人形

青い目をしたお人形は  
アメリカ生まれのセルロイド くりがえし  
日本の港へついたとき  
いっぱい涙を浮かべてた  
「私は言葉がわからない  
迷子になったらなんとしよう」  
やさしい日本の嬢ちゃんよ  
仲良く遊んでやっどくれ  
仲良く遊んでやっどくれ

## 赤とんぼ

1. 夕焼け小焼けの 赤とんぼ  
追われて見たのは いつの日か
2. 山の畑の 桑の実を  
小籠につんだは まぼろしか
3. 十五で姐(ねえ)やは 嫁にゆき  
お里のたよりも たえはてた
4. 夕焼け小焼けの 赤とんぼ  
とまっているよ 竿の先

